

※一部非公開

2022（令和4）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース

社会科教育専修

注 意 事 項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

資料 1 と資料 2 を読み、以下の各問に答えなさい。

問 1 資料 1 を読み、その内容を要約した上で、校則に対する校長の考えを示しなさい。
(400 字程度)

問 2 資料 2 を読み、法律は何のために存在するのか説明しなさい。(600 字程度)

問 3 憲法に関する「その時々議会で多数決によって安易に改変されるべきではないという考え」について、憲法の特徴をふまえて、その理由を述べなさい。(800 字程度)

非公開

非公開

非公開

(宮坂麻子,「荒れる生徒,校則あえて全廃…「常識」破った桜丘中校長」,『朝日新聞』デジタル, <https://asahi.com/articles/ASM304245M30UEHF002.html>,2020年7月20日閲覧,抜粋・一部改変)

非公開

非公開

非公開

非公開

非公開

(大学初年次教育研究会編『大学1年生からの社会を見る眼のつくり方』大月書店、
2020年刊、124～133頁、一部改変・抜粋)

2022（令和4）年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース

社会科教育専修

出題の意図

この小論文は、琉球大学のアドミッション・ポリシーに基づき、教育学部・学校教育教員養成課程が求める、将来教師として教育に従事するために必要な教育の理念と実践を広く深く学ぶ意識と資質について評価するものである。すなわち、資料（社会科学的 content）に対して、その内容を正確に読解し、そこから得られた認識を基に設問の趣旨を踏まえて合理的に考察し、それを的確に論述する構想力と表現力について、問うものである。